

琵琶詩吟名匠録

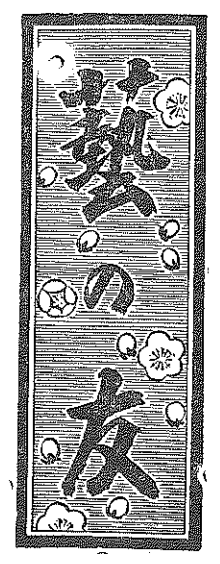
- 日本琵琶楽協会 事務所 東京都港区西新橋一丁目 105 電話三七八九番
薩摩正絃会 事務所 東京都港区西新橋一丁目 105 電話三七八九番

- 琵琶清吟会本部理事 詩吟光吟会本部会長 西村錦風
新部桜水 153 東京都目黒区五本木一ノノ 十一 電話四九四五番
錦流琵琶本部 水藤五郎 176 東京都練馬区旭町三ノ三 四 電話四四四九八番

- 錦心流大館派教授 前田洲月 166 東京都杉並区成田東三ノ三 二 電話(三三)三三三四番
大館派琵琶、詩吟 洲誠会 桑名洲聖 108 東京都港区白金一ノ二 二 電話白金(三六)三六一七番

- 薩摩琵琶 古家絃風 124 東京都葛飾区立花一ノ二 二 電話葛(五七)三三九番
遠藤鶴東 280 千葉県市川市四ノ九 二 電話(四一)一九〇一番

- 錦心流琵琶教授 吉野洲水 916 福井県鯖江市本町二丁目 電話(五一)〇〇四四番
北陸琵琶同好会本部 会長 田中 930 富山市太田口通一丁目六 電話(二一)三三三(三一)四六番



藝の友 十二月号

琵琶の極致名人技に酔う観衆 威力輝く山元師リサイタル盛典



(山元錦城師)

筑前琵琶の名人で、吟詠錦城流 宗家としての權威者で女王と敬称 される徳望家山元錦城師の第二回 目のリサイタルが既報の如く十月 十日午後一時より読売ホールに於 けて華々しく開催された。この日秋 晴れの好天で正午頃より入場者押 しかけ、開演一時ころには千数百 収容の大会場は殆んど満員に近い。

年研練を積まれた筑前琵琶の曲で 一西郷隆盛を弾奏、郷土の偉人 大西郷の誠意の心境と城山にての 最後まで、全現を打ち込んだ静 寂さ、聴衆は恍惚と酔われて一世 一代の入神技は激賞裡に幕とな る。琵琶吟詠「義経の最後」は、 山元師が企画構成と作曲されたも ので、琵琶は師と夏秋錦穂さん、 吟詠は西川、中西、林田、上野、 剣舞が迫田、堀之内、詩舞を本村、 小川が勤め、尺八、箏、鼓、十七 絃の伴奏、一竜齋貞司の解説で、 源平の合戦の衣川での戦死までを 上演し、名將義経の悲運な物語を 表し万雷の拍手起る。第三は新体 詩と吟詠で、山元さんの独断詩で、 朗々たる節調に貫録を窺わ せ。山元師紹介は司会者片岡みど りさんと山元さんの対談で、山元 師が今日に至る迄の芸道修業の苦 心を物語られ、各芸能人には良き 参考となったと思われる。

十三名の「水仙花」、同男子十四 名の合吟「絶命の詞」、同女子部 十四名の「遊芳野」。更に男子十 五人の「中庸」、女子部十四人の 合吟で「山間秋」と六題が全国各 地から参加された男女各師範格各 手に依って巧吟されて大衆の耳目 を聳動させ感心な声援を受く。こ こで式典に移り、山元宗家の挨拶 錦城会々員代表夏秋錦穂さんのお 祝いの詞、吟詠評論家大野憲造、 芸の友社長鈴木善士、都議会議員 原哲太郎三氏が祝辞を述べ、祝電 披露(二百余通の代表披露)と花 束贈呈(孫、子、会員一同、芸の 友社)があつて幕となる。

東京薩摩琵琶の元老辻靖剛翁が 琵琶の将来を案じ、多忙の身を 割いて新人養育のため古拙研究を 始めてから数年、現在薩摩の麒麟 児と評されて須田誠海君を首め十 余人の会員を指導して薩摩に新風 を吹き込み、正絃会更生へ活を入 れている。十月二十一日銀座交詢 社に於て開催された正絃会秋の演 奏大会は創立十三周年目の会である が生憎雨で天に拘らず聴衆押しか けて盛んに声援し、求賓の地方 の巨匠や大家と新鋭組の競演に活 気を示された。先ず新人組で青沼 清川、須田三者が牙え、鈴木、柏 木、池野、古家、仲川、東原、曾 我の古参会員が老練の技を揮って 新人組と対抗し、静岡の赤心流鶴 翁氏が鶴声派の特色を揮って。樽 山副会長挨拶のあと大阪の女流鶴 部錦蝶嬢が八十五歳の高齡で元氣 に妙技を、東京の前田秋声師が節 調の得意を揮うと、静岡の鶴声派 家元である山本鶴声名人が幾年振 りかの東京出演に独特の妙節と絃 の牙えに寸隙なき撥擲きを見せて 賞録を示す。新潟の石田錦穂老も 久方振りの東京出演で健在を言は れるなど珍らしい顔合せに場内に 温かい風も吹く。栗原氏の熟巧演 のあと曾我氏の独特琵琶演奏で独奏 は終り、最後の門徒合奏に新旧

日本芸能顕彰会理事長鈴木鉦次 郎氏は、琵琶と吟詠界の功績者へ メダル、トロフィー、タテ、金盃 等を贈つて激励し、西芸能の発展 に大きく貢献されつつあるが、九 月よりの分は彦根の山本城嶽、林 田旭城、鈴木旭芳、東大阪佐伯旭 瑛、逗子平野鉦水、千葉県浦安の 木下旭竜の諸師へ贈呈された。

正絃会大会好評 活気満ちた興味 巨匠と新鋭競演

山元錦城集大成 十二月一日発売 詩吟朗詠錦城会本部では、宗 家山元師や師範級の吟詠レコード のコロムビア、テイチクに吹込み 市販されているが、宗家の愛吟集 を去る十月十日に催したリサイタル の上演吟中の傑作までの内最も 優れたものを選び「山元錦城集大成」として完成、美装ケース入写 真アルバム付LP五枚セット組で 発売される。これは山元師の制作 関与企画編纂で製造は東芝音楽 工業会社、発売は十二月一日より 限定三千部。頒価九千五百円。 希望者は東京都杉並区成田西一ノ 六ノ三山元錦城宛至急申込まれた こと。再販はしません。

芸能顕彰会が表彰 十二月一日発売 日本芸能顕彰会理事長鈴木鉦次 郎氏は、琵琶と吟詠界の功績者へ

昭和四十八年十二月一日発行

琵琶道五十年 講談びわ名匠

大野皎月師

平和祈願の一念で社会奉仕に

現在の薩筑各派で用いている琵琶歌の歌詞は難解で聞いて判らないとは青少年のみでなく聴衆大半の声である。この声に慮えるが如く、誰が聴いても判る様な平易な歌詞で大衆を感動させ感謝されているのが京都郊外大山崎町に住居の大野皎月師である。大野師は琵琶道五十余年に及ぶ講談琵琶の第一人者で、一時斯界の先覚水也田谷洲師の指導を受け研修され、戦前に支那、満州、朝鮮を旅して軍隊や民衆慰問に活躍され至る所で好評を受けた。朝鮮京城で今日の芸の友鈴木社長と知り合った。戦後は東京、広島での公演に面識を重ねているが、大野師の得意曲は「乃木將軍鹿島詣」で、戦争の生む惨状、遺族の方の苦心哀情と人情の移々たる状態を誰が聴いても判る様に、或は勇しく或は悲しく琵琶絃の音調色と講談口調で熱演し、大衆を感涙させる妙調は実に巧みである。師は物欲の芸能人と異り、社会報国の強い方で常に多くの人に喜んで貰う事に生甲斐を感じる風格の持主で、頼まれれば無料で出演する変り種でもあつた。この為か近年は各地の婦人会とか遺族会、老人会その他よりの招聘が多く多忙であるという。

琵琶名流競演で 浅野晴風会盛況

東京芸能界に琵琶両道の芸家である浅野晴風師が指導の晴風会の年一回の秋の大会は、十月十四日午前十時半より夕四時半まで中野区公会堂にて開催、秋晴れの好天に恵まれて来聴者多盛況であった。師の一門にはコンクール入賞の山下を始め、若林、緒方、杉山加藤、大関、青木、坂入の精鋭組が揃い、大会協賛に谷澤水、鈴木流泉、山崎典水の両名手、特別参加の望月江江名人の顔も揃えた陣容で、琵琶詩吟吟舞等二十余が上演。妙技を競う秋の邦楽祭だけに声援のファンを熱狂させた。浅野晴風師の当日の奏曲は「舟弁慶」で至るの重量感を示し、大関英子、加藤錦陽両中堅の人氣振り、浜松吟界の重鎮中村松声女師の妙技が光り添えて拍手盛んであった。

四大都市名流の競演で人気沸騰

つづき会は好評

大阪の女流琵琶まつき会の十周年記念演奏会は、去る十月十日市立婦人会館にて開催されたが、大阪各流の大家と京都、名古屋、東京より人氣名手が来演されるのでファンの興味を湧かせて記念会らしい人氣で盛況であった。同志会員には琵琶の最長老岡部錦雄や藤原英水女史と全国的に知られた名手があり、一水会支部の東憲水

小川吟水、中山鳳水三者も有名である上に特別出演の名人山崎旭菴女師を始め東京の仲川秀邦女史は社交家で高名、京都の矢吹旭美津で当代の花形と呼ばれ、名古屋の阿部勝水さん等は女流精鋭の花名と近年の一本会の人気者である。これらの有名人が一堂に集つての競演は滅多にはない事として聴衆は期待を持って参観されたことが出演者一層張り切らせて熱を増し果敢を取つたと思ふ。(大阪・フアン通信)

東京三大家特出

半田錦崇師の会

東北琵琶界の大先輩で無形文化財的の巨匠、仙台市の半田錦崇老師の秋の芸術祭公演は、十月二十日正午より同市日立センターホールに於て、東京より前田月洲、宮崎洲香女流両大家と琵琶振興会長鈴木流泉名匠を招き、河北新報、東北放送、琵琶吟詠協会、若手、秋田の琵琶団体の後援で開催され、出演者は会主半田、特別協賛の東京の前田、鈴木、宮崎三大家、地元で全国的著名の菅野有水、菊地松房、南藤水、佐藤錦鐘錦氏並に吟界名手と剣舞家等二十余人で技を競われ、多くの来場者へ芸術の秋の一日を楽しませ賑わった。

岡崎市芸術祭参加 堀田旭甲会秋の会

名将徳川家康公の誕生地で有名な岡崎市は、著名な神社仏閣や名

所古蹟が多い観光地である。これと並んで琵琶両道芸能の巨匠橋本の重鎮堀田旭甲師の道場があり全国的に知られている。堀田師秋の大会は岡崎市芸術祭参加として十月二十一日午前十時より松栄会演舞場にて催され、師指導の旭甲会甲心会の琵琶、吟詩道両部の会員賛助の吟界諸氏、琵琶の箱根押川旭葉、名古屋吉田旭蓮、志水旭城大阪寺尾旭吉の師範格名流が参加、堀田会主始め一門の精鋭百余名の出演で琵琶、詩吟五十二題が上演され、巧技妙節を競つて来聴衆を沸かしめ、芸術の香を放ち盛会で好評を博した。

大家と精鋭熱演

京北協会記念会

東京四絃界の名星千葉玉山、戸谷澤水両師が主宰している京北琵琶協会の創立十五周年記念琵琶会は、十月廿八日夕五時半より池袋東口の豊島区民センター文化ホールにて催された。折り悪しく降雨の夕べであったがファン押かけて盛んに声援され活気溢れた。開演は定刻戸谷澤水総務の開会挨拶に始まり、重田玉袖「大菩薩降」の熱演に著しい上達ぶり発揮を先陣に、詩吟の中村、吟舞、連吟、磯部遊風と佐々木恵風の連吟が続く。琵琶錦鐘舟「山科の別れ」に涙味を聞かせ、詩吟一人を抜んで橋本水声「田村即切腹」に研練の技を示す。戸谷澤水総務は「川中島」を吟で特徴を揮えば、輝水派の主将輝錦師が「鉢の木」で天

謹告

礼節、信義を重んずる日本国民の伝統精神を基調とせる邦楽琵琶芸術が、終戦後衰退して容易に復興の機雲起らざるを遺憾に思い、昭和四十年に斯道の振興促進の一助にと日本芸能顕彰会を創設して全国演奏家各手の業績功勞著者の表彰を執行して参りました。この表彰に就きましては敬師或は知人の推薦に依り賞品贈与の形式を採用しては参りましたが、昭和四十九年一月よりは従来の古参功勞者のみでなく新人組の前途有望者を選抜して表彰するのが芸術の向上激励への捷道と考慮し、同時に選考委員制度に改め慎重審議の上で表彰を行う事と、賞品と共に賞状を贈呈する事に決定しましたので御諒承を賜り度お願いいたします。

昭和四十八年十一月 日本芸能顕彰会 理事長 鈴木鉦次郎

琵琶コンクール 入賞の栄誉名手

日本琵琶協会の主催の第十四回琵琶コンクールが十月七日東京銀座交詢社に於て行われ、七審査員による審査の結果、一位一人、二位二人、三位三人の入賞者と、秀位八人の氏名が発表された。一位優勝者には協会長賞の外、文部大臣奨励賞、日本放送協会賞、日本芸能顕彰会賞その他の賞状賞品が授与されて眞面目を輝かした。茲に入賞の栄誉名手を紹介する。

一位 内山鶴崇師

念願の文部大臣賞を戴いた内山鶴崇師は、札幌邦楽界の重鎮であり実業界の名士で高名。琵琶道五十年近い研鑽者で、新内、義太夫も愛好され通人、札幌名所の一つで通る「天政」食堂ビルの会長長として重厚内訥の紳士。札幌邦楽舞踊協会の役員も兼ねている。



(内山師)

二位 山田洲鳳師

二位上位の山田洲鳳師は、昨年のコンクールでも同位に入賞された秀技者である。洲鳳会屈指の名手で貸席洲鳳会館の経営者であり同好の信頼厚い男子中の男子らし

さの強い方、それについて情義細やかな人情家で支援も多い。奏曲の「横笛」は美事な演奏であったが玉を逸した。明年の栄冠が待望。



(山田師)

二位 宮崎洲香さん

錦心流大館派の重鎮で、名人と呼称される前田洲月師の最愛門人の宮崎洲香さんが今度二位の栄光を占めた。宮崎さんは前田師の秘蔵の一人で、コンクール出場は三四度かに及ぶが必ず入賞する優技者で幸運の花形である。吟道より琵琶の道へ転じた前途洋々の若い名花、氣立のやさしい明朗さがファンの支持を得る点であろう。



(宮崎さん)

三位 熊手旭辰氏

三位の一賞は、熊本の熊手旭辰氏が占められた。東京藤巻師の大会に出演された事はあるが、コンクールは初出場で三位入賞とは幸運であった。

三位 座間敏水さん

一水会横浜支部の会員で、中谷

要水支部長が推す座間さんは、コンクール出場は始めてである。然し新人ではなく中谷組の巧者であり明るい美声家。初出場で入賞の機を掴んだのは稀な幸運である。

三位 佐藤晃絃師

佐藤晃絃師は四国松山市にある愛媛県琵琶連盟の会長を昨年まで勤められた徳望家で斯道の重鎮である。昨年のコンクールに初出場して秀位の四位となり二度目の出場に入賞の栄冠を獲得された。温厚の礼節の長老名手で、趣味の店大観堂主人で、各地名手を公演会に招いて交流開拓の功勞者である。

秀位 若宮旭登さん

京阪神に於ける筑琵琶派の名星若宮旭登さんは、数年前より東京へも出演され演奏会を開いて妙技を競われている。コンクールは初出場で「柳の精」を演奏、入賞を予期されたが惜しくも逸した。曲の選定に審判は厳しい断定があった。

秀位 木下旭龍さん

阪神地区に名を轟かした筑琵琶の花が、千葉県浦安に移り咲きて今は琵琶吟の良師、齒科医院長の夫人で明朗な社交家で義理人情味豊かな主婦。秀位賞は努力の輝き平

芸能顕彰会より 表彰で輝いた

平野鉦水師大会

一水会連葉支部長で錦心流湘南

鉦水会秋の大会



後、会主平野師が「本能寺」の曲で美声巧節振りを発揮し、大拍手を受ける。つづいて日本芸能顕彰会は平野師が日本伝統精神鼓吹に尽された十数年の功績に対し、表彰のトロフィー贈呈式となり、東京芸の友社鈴木社長が挨拶し顕彰会理事長代行としてトロフィーを平野師へ贈呈。石渡さんが市議代理で花束を贈つて式を終る。時に夕五時五分。それより地方より協賛名手の出演で先香が、横須賀土橋水、齋藤珠水、石井桑水、藤沢本山水、東京聖和会藤川晴水、外三台合奏組山田幻水、横浜の中谷轟水、東京山口連水と諸名手の独奏が続く。聴衆は盛り沢山の長演技に聊さ飽きず、

石)で開演した。会場舞台は金屏風を背景に左右に祝花が飾られ会員十数名(欠員も三四名)が次々と出場妙技を熱演して知己ファンの拍手を浴びる。会員の演奏の間に富士松菊登志さん二人組の新内鈴ヶ森、小島たか子の日本舞踊が上演され、ファンを喜ばせる。本庄、三門、藤田、石渡と平野一門の花形連の単奏が続いた。女流八人の「一静」の合奏が舞台を飾った

神戸支部長に三浦師

一水会神戸支部長職本司水師死去により三浦蓮水師が後任された

鶴田錦史師帰国

九月十五日朝羽田空港発で欧米五カ国での公演の旅に立たれた名人鶴田錦史師は、イラン、ドイツ、フランス、イタリアの四カ国での公演に至る所で大会場が満員の人気で良果を収め、更に米國へ渡つての公債に素晴らしい賞讃を博し、二月二十三日無事帰国された。師は帰宅後に四十日間の留守中の諸事整理に多忙を極めていたが、十一月四日福岡市の少年文化会館で開催の筑前琵琶保存会の演奏会へ応援のため三日門人二人を連れて出発、六日帰京された。

勲五等瑞宝章の受章に輝やく

板谷翼氏の栄誉

現代の筑前琵琶で代表的な歌の名人と言へば板谷の板谷翼氏。それと異口同音の定評である。その公演に至る所、大舞台が満員の人気で良果を収め、更に米國へ渡つての公債に素晴らしい賞讃を博し、二月二十三日無事帰国された。師は帰宅後に四十日間の留守中の諸事整理に多忙を極めていたが、十一月四日福岡市の少年文化会館で開催の筑前琵琶保存会の演奏会へ応援のため三日門人二人を連れて出発、六日帰京された。

錦古流秋の大会

川原湯温泉で

現代の邦楽界に名匠と輝く群馬県随一の芸家、高崎市の吟詠両道の権威者針谷錦古師は、去る四月以来健康を害し静養を続けておられしが元氣回復して十月二十八日午後八時に県下吾妻郡川原湯温泉の敬業館ホテルにて錦古流吟詠の大会を催した。この大会には日本芸能協会、テイチクレコ、全国吟詠文化会、長雨宮園風の三者が後援され、特に奨励の賞品まで寄贈表彰された。当日は針谷宗家、師範四方田錦隆女史を始め一統の各支部の幹部や役員も多数参加して上演吟六十題、琵琶も弾奏されて健康体となられた宗家の温容に接し門下一同も歓喜の声を上げて賑った。



(針谷錦古師)

一水会中央支部の秋季演奏会

錦心流一水会中央支部の秋季演奏会は、十月二十七日夕四時より麻布十番俱樂部にて催された。琵琶と詩吟、日舞もあり、支部当番役員菊地甘水氏の尽力で一寸目先の変わったものとなり、琵琶部は杉本淳水支部長、内田琴水副支部長、戸谷曙水幹事長、菊地甘水当番役

琵琶友会の琵琶会

名古屋琵琶界の古老で錦心流名手の奥村憲水師範会長の琵琶友会の演奏会は、十月二十一日午後一時より大須の中小企業会館にて開かれ、奥村会長、水谷浩水両師範、一水会の菅沼水支部長、協賛の東京の佐藤采水、大阪森中志水、筑前橋本の長谷川旭鶴三名手、応援田中訴水、会友谷津花水、神藤敏水、小林残水、谷津壯水、丹野鮎水、

三輪桃水、加藤澗水、松尾昭水、中西穂水の各会員と他数名の新鋭が出演披露があり大賑い。

六十名様までの貸ホール

小唄、民謡、琵琶、詩吟、和風芸能、講習、小集台等 (短時間でも御利用を)
 昼間一時間一、〇〇〇円
 夜間一時間一、三〇〇円
 全日午前十時より夜九時迄
 平日一、〇〇〇円
 土、日、祭日五、〇〇〇円
 冷暖房完備、マイク、レコーダー、トランプ、湯茶、宴会の設備完備
 新宿区新宿一ノ四ノ九
洲鳳会館
 山田洲鳳
 電話七三六六番
 地下鉄は新宿御苑前駅(下車三分)

コンクール入賞の上位三名手が放送

十月七日東京交詢社にて行われた第十回琵琶コンクールにて入賞の柴に浴した六名手のうち、一位の内山鶴峯、二位の山田洲鳳、二位の宮崎洲香の上位三名手は、十一月八日午後五時から五時半までNHK R.F.M. (今日の邦楽の番組)

全国放送を行ったが、精練の妙技は流石でファンを堪能させ好評。

吉成登城師逝去

東京琵琶界の長老で、薩摩琵琶正統の双壁の一人である吉成登城師は、今夏来健康勝れず静養に努められていたが、十月に入つて病勢急増、同日二十日国立大久保病院へ入院、診察の結果胃癌と診断されたが十一月一日朝六時十五分遂に永眠されたのは惜しまれる。享年七十六歳。告別式は三日正午より一時まで自宅で仏式により執行された。当日会葬せる親縁人は、近、岡部、芸の友鈴木、仲川、池野谷、古家、前田、都、須田、宇川、曾我、伊藤、水藤、新部、原島、木原、石田、鶴岡、鶴藤、高杉の諸氏、数名であった。吉成師は栃木県生れの薬科大出身の朗かな性格であり愛酒家の割に社交家で、正統会の長老名手でも全国的に知られ、乃木將軍、俊寛の曲を得意とされ、謹んで敬悼し御冥福を祈る。

高橋洋水師逝く

錦心流湘南地区の長老高橋洋水師は老衰と風邪のため十月二十二日急逝された。行年八十一歳。二十三日葬儀執行す。茲に敬悼す。

江頭法輪師東上

京都市右京区嵯峨釈迦堂清涼寺内の全日本聖徳会本部主幹の江頭法輪師は、筑前琵琶界の大先輩で宗教琵琶家を宣言された名人であるが、現在は聖徳太子敬仰の奉賛布教家として国内は勿論海外でも知られている。江頭師は往年満州大連に滞在中知遇を受けた本庄陸軍大將(満州軍司令官)が去る二十一年に軍人としての責任で自決された事を痛惜され、十一月二十日のご命日には必ず上京して多摩墓の墓にお詣りされるが、今年は二十八周忌を記念し將軍の慰霊碑が建立され法要が行われるのに参列のため十一月十六日上京し二十三日まで滞留されると。

原島旭粧さんが八日に演奏会を

高円寺会館で

現代の筑前琵琶で女流第一線の代表的大家と定評ある東京旭会の名宝原島旭粧師は、四十八年も押



(原島旭粧師)

し詰つて来た十二月八日正午より国鉄高円寺駅前の区立高円寺会館に於て忘年会を兼ねた琵琶演奏会を開催されると。当日は旭粧会員

錦城会彦根支部会

山元錦城宗家の錦城会彦根支部では、市文化祭協賛として詩吟朗誦大会を十月二十一日市民会館大ホールで開催、山本城嶽滋賀県本部長(東京総本部最高役員で総師範)を始め平尾城水、林田錦華、鈴木錦香、鈴木城嶽、間山、荒木早田、木村、緒方、吉坂、中川、岩崎、小川、伊部と師範、中堅の名手以下数百名が出演し百四十余題が上演された。殆んどが連吟、合吟で、特別番組に詩吟物語「大西郷」「白虎隊」「華道吟」、書画道吟、「殉國華」「菅公篇」がありて日本精神を鼓吹し、市民の盛んな声援で満員の盛況であった

城山会の秋の会

薩摩琵琶城山会が絃聖と称えられた名人故吉村岳城先生の遺業城山会は、数年前未亡人時子女史の身障事故と伊藤岳英師の病氣重態が支障して、幹部岳瑞師が主動で年一回の演奏会が開かれる積極的の運営となつてゐる。四十八年秋の会は十一月四日午後一時三州俱樂部広間で、歌吉田瑞馨、絃聖部岳瑞で「重衡」の曲が序演である。吉田さんは態度もよく歌も巧者であり堂々の演技で好感。伊藤瑞馨「菅公」、大宮透水「五洲橋」と熱演がにつき、宮崎桑名洲聖「雪晴れ」の曲で大物らしい貫録芸を示す。津和田岳聖「小松の操」、宮崎岳灯「光秀の最後」の外に各流有志が特に参加出演されて花を添えると。

古典研究所生が薩摩琵琶演奏会

東京の薩摩琵琶界の元老である辻靖剛翁が、六七年前より若い愛好者の要望で始められた琵琶の稽古が、同志の増加につれて本格的な教授所となり、古曲研究所として十数名の研修生で賑っている。同所は、所長が辻靖剛師で相談役に遠藤鶴東、栗原雨竹両者があり所生は師範須田誠舟、教師正本溪舟、清川嵐舟、山本嶺舟、小村錦舟、奥伝堀越素舟、今村潮舟。中伝青沼紅舟、大越雅舟諸氏他で何れも前途有望の人々である。以上の研究生が十一月十日午後一時より神田神保町岩波ホールに於て初の薩摩琵琶演奏会を催した当日は研究員の独奏と合奏、辻所長や相談役の演奏等が上演され、活気に充ちた演技が聴かれた。

返子開成学園七十周年記念に曾我師出演

返子開成学園の開校七十周年記念文化祭が十月十四日午後二時に同校校庭で開催された。同校庭には明治四十三年にボート遭難記念碑

安藤光捷さん退院

筑前琵琶山崎旭幸師後援会の東京本部長である安藤光捷氏夫人光捷女士は、春以来健康勝れずとて掛りつけ医師の診断を受けた処胆石症と判り七月十二日黒駒沢の国立第二病院へ入院され、治療中に子宮癌の症状ありと診断され療養に専念された。然し一時は病勢悪化し重態となり医師も殆んど絶望として言外されたが、奇蹟的に助かり十月三十一日午前中に退院の慶びを迎えたと喜ばしい。光捷さんの入院は百十数日間、夫君光捷さんが毎日見舞われた外、山崎旭幸さんが献身的な看護に大阪から十度も上京された。佐藤旭天紅さんが毎週一、二回宛見舞われて病人を励まし慰めたことが元氣をつけ回復に効果あったと。

各派巨星参加の赤心流秋の大会

静岡市の邦楽界に琵琶両道の名星と謳われ人氣の的となつてゐる吟詠琵琶赤心流家元鶴翁師が、十一月十日一時より県立婦人会館にて第一回赤心流秋の大会を開催

大津旭紅さんの旭紅会の温習会

東京旭会の古参大家で、名流の淑徳賢婦と謳われる大津旭紅女史は、数十年間良家の主婦で一筋の琵琶趣味に生き、教授として多くの門下を育成して来た功労名手である。十月十四日秋の温習の自宅でもし振りに温習会を開き、門人や知友も参加され終日楽しまれたと。

横須賀琵琶連有志が老人ホームを慰問

横須賀琵琶連盟の山田幻水会長は、斎藤珠水、曾我電城、石井榮水、森崎水、采崎純水、瀬谷香水、末吉希水、山本殊芳、下村、大坪舞踊の小島たか子さん等は十八日午後横須賀市衣笠共楽荘(老人ホーム)を訪れ、老人連を慰問の琵琶演奏や舞踊を見せて半日を楽しませ感謝された。

年賀交礼申込み

昭和四十九年の新年を迎えるに当り年賀交礼の芸の友紙上で御挨拶の申込みは十一月二十八日限りで締切ります。申込み未済の方は至急御申込み下さい。(営業部)

山元錦城師の宗家 創建二十年記念
リサイタルを祝う

吟詠錦城流宗家山元錦城師は、鹿兒島出身の琵琶の名人であるが、居を東京に移し吟詠宗家を宣言し、二十年足らずの短年月で斯界の覇者に成功された。その記念リサイタルも大会場満員の盛況で感嘆と徳望を讃えられた。これに感激して郷土の先輩名士久木田松氏より左の祝作歌が本社へ寄せられた。

◇ 国を出て風雪に耐えて二十年、梅花うるはし琵琶の女王。
◇ 若き日の旭錦の麗姿琵琶の牙え、至芸となりぬ西郷の曲。
◇ 君を慕い師とし仰げる一万余、錦城琵琶今ぞ華映く。
◇ 愛國の至情は燃えて吟詠道、まじくら励みし女傑錦城。
◇ 敷島の美しく清しくさやけさをこの道をもてひた進ませ。

愛媛琵琶連盟の会
愛媛琵琶連盟は、同会の主任佐藤晃雄会長が辞任され浅田芦水氏が新任された初の秋の演奏会を十月十四日午後松山市民会館小ホールにて開催、佐藤晃雄、森脇旭彦、谷口旭英、白石旭優、石塚旭奏の首脳職員並に高知、宇和島等よりの会員等十数名参加、東京より錦心流の松田殊水、高橋濯水両氏も特出されて生気を添え大賑わいした。

錦心流一水会金沢支部十周年記念会
錦心流一水会金沢支部が田中篁水元支部長等の尽力で創立されてより十周年を迎え、円満厚手の名手水谷充水現支部長の時代となったが、十周年を記念の琵琶大会を十月二十一日正午より石川県婦人会館にて開き、東京本部より秋嶺水副会長、松岡遼水理事を迎え、北陸の錦江、富山、滑川各地の名手協賛、地元会員協賛で開催の盛況であった。主な出演の北陸名手は富山の田中麗水支部長、錦江の吉野洲水支部長、内田景水、金沢の水谷充水支部長、田中篁水元支部長、中川流水、八田錦輝、坂井旭蘭、戸田銀水、広田緑水、村田知水諸氏外であった。

琵琶詩吟名匠録

筑前琵琶橋会師範
旭柳 松本旭柳
461 名古屋市中区東外堀町二ノ六ノ元 電話(052)五二六〇番

筑前琵琶橋会師範
稲垣旭玲
047 小樽市花園五丁目七ノ九 電話(011)三三九〇番

筑前琵琶橋会師範
板谷旭邑
730 広島市本町一〇番一五号 電話(21)二二九一〇番

筑前琵琶橋会師範
田中旭嶺
154 東京都世田谷区野沢一ノ七ノ九 電話(03)四七四四五番

須田旭綱
150 東京都渋谷区宮前二ノ五ノ二 電話(03)二二三八八番

鳳凰 峯 旭孝
177 東京都練馬区大泉一ノ四 電話(03)三〇四〇番

筑前琵琶橋会師範
大津旭紅
167 東京都杉並区南荻窪三ノ二ノ三 電話(03)三三〇一〇五番

筑前琵琶橋会師範
原島旭粧
160 東京都新宿区西新宿一ノ二ノ二 電話(03)五五六四番

筑前琵琶橋会師範
河野旭保
802 北九州市小倉区馬借一ノ二ノ二 電話(092)八三三〇番

筑前琵琶橋会師範
中村旭園
810 福岡市中央区今川二ノ七ノ三 電話(75)887・(77)329番

筑前琵琶橋会師範
堀田旭甲
444 岡崎市福寿町七ノ七 電話(0564)21)五七七番

筑前琵琶橋会師範
林田旭城
522 彦根市中央町六ノ二 電話(057)三三二六番

筑前琵琶橋会師範
石河旭豊穰
464 名古屋市中区豊川山町三ノ七 電話(052)七七八〇九番

筑前琵琶橋会師範
竹下翠風
168 東京都杉並区下高井戸一ノ三ノ三(33)天窓 電話(03)三三三三三番

筑前琵琶橋会師範
廣瀬翠紅
187 東京都小平市仲町一ノ九 電話(042)41)二四三六番

筑前琵琶橋会師範
田中旭昇
653 神戸市長田区梅ヶ香町一ノ二ノ二 電話(078)41)一八番

筑前琵琶橋会師範
入谷錦鳳
414 伊東市湯川一ノ四ノ六 電話(055)37)五二九二番

筑前琵琶橋会師範
鈴木流泉
343 越谷市大成町一ノ二二九二 電話(042)82)二四一三番

筑前琵琶橋会師範
望月江
272 市川市東野野四ノ八ノ二 電話(043)34)八二九二番

筑前琵琶橋会師範
菊水流本部
125 教授所 東京都葛飾区青戸六ノ二 電話(03)563番

錦心流琵琶
藤川晴水
115 東京都北区志茂四ノ一ノ二 電話(03)13)三〇八番

錦心流琵琶
輝水会山梨縣支部
400 甲府市相生町二丁目四ノ七 電話(35)三三三三三番

錦心流琵琶
長谷川錦侯
405 山梨市小原西一ノ一六九 電話(055)21)一〇一〇番

錦心流琵琶
近藤錦秋
400 甲府市朝日三丁目一ノ七 電話(055)85)五五七番

錦心流琵琶
輝水会北米支部
支部長 福手錦稜
支部長 福手錦稜
支部長 福手錦稜

錦心流琵琶
都錦穂
113 文京区根津二丁目一五ノ二 電話(03)41)五七〇八番

錦心流琵琶
西山錦耕
176 東京都練馬区旭町二ノ二四 電話(03)98)二二四四番

錦心流琵琶
小沢錦弥
116 埼玉県八潮市八条二ノ二 電話(048)95)四二二〇番

錦心流琵琶
千葉玉山
171 東京都葛飾区長崎五ノ三ノ二 電話(03)561)一八七一番

筑前琵琶橋会師範
北村旭良
680 鳥取市片原四ノ二七 電話(0857)22)八四七番

筑前琵琶橋会師範
久徳旭蘭
651 神戸市灘区八幡通五ノ六 久徳ビル 電話(21)二六〇番

筑前琵琶橋会師範
佐伯旭瑛
577 東大阪市徳徳町一ノ八二 電話(72)一四八二番

花房会 花方旭嶺
141 東京都品川区平塚三ノ八ノ六 電話(03)37)一〇八番

大和流琵琶吟楽 安藤光鵬
158 東京都世田谷区東玉川三ノ三 電話(03)41)八二二番

筑前琵琶橋会師範
木下旭竜
272 千葉県浦安町猫美二四五 電話(043)51)三六五番

筑前琵琶橋会師範
佐野旭晴
657 神戸市灘区上河原通一ノ二 電話(078)86)五三一九番

筑前琵琶橋会師範
小野旭枝
802 北九州市小倉区米町四丁目 電話(092)52)三三三番

大和流琵琶吟楽 光昭
535 大阪市旭区赤川町三ノ二 電話(06)82)二四九番

吟詠教授、吟松会 中村松聲
430 浜松市鹿谷町三七一〇番 電話(53)七六六〇番

より十周年を迎え、円満厚手の名手水谷充水現支部長の時代となったが、十周年を記念の琵琶大会を十月二十一日正午より石川県婦人会館にて開き、東京本部より秋嶺水副会長、松岡遼水理事を迎え、北陸の錦江、富山、滑川各地の名手協賛、地元会員協賛で開催の盛況であった。主な出演の北陸名手は富山の田中麗水支部長、錦江の吉野洲水支部長、内田景水、金沢の水谷充水支部長、田中篁水元支部長、中川流水、八田錦輝、坂井旭蘭、戸田銀水、広田緑水、村田知水諸氏外であった。

一水会大阪支部大会
一水会大阪支部の秋季演奏大会は、十一月四日午後後府立婦人会館にて催され、田中篁水氏司会、小川吟川支部長の開会挨拶について開演、藤原英水、米沢瑠水、中山風水、田中敏水、中西鏡水、吉田風水、植田豊水の支部上級連以下十名の会員、来賓に京都木下泉水西宮三浦運水、東京の桑原敬水三名流の各単奏、顧問東憲水と小川支部長の御台出等が上演された。木村蓮水氏閉会を宣し終った。

琵琶振興会十月会
名匠鈴木流泉師会長の日本琵琶振興会の十月例会は、二十八日午後一時より新宿の洲風会館にて開き、青木晴水、井坂旭良、井上雅翔、小沢錦弥、木原綾子、新納岳窓、八東一峯、若林杏雨の諸氏が出演され、ファンも多く賑った。

錦江の吉野洲水会
北陸地方随一の活動名星である

福井県錦江市の吉野洲水師は、市の文化祭参加として十一月四日午後市民会館にて琵琶演奏会を催し、一門の内田景水以下会員と、富山田中麗水、金沢田中篁水、名古屋阿部勝水の三者名手も特別出演されて大人気を呼んだ。

琵琶詩吟名匠録

筑前琵琶橋会師範
岩見旭香
466 名古屋市中区栄子町四ノ六 電話(052)三三〇九六六番

筑前琵琶橋会師範
押川旭葉
250-04 神奈川県箱根町強羅三三三 電話(046)21)二二二番

錦琵琶校会々員
木原綾子
274 船橋市高根合四ノ一五ノ四 電話(0476)66)七九四〇番

正派傳声風流琵琶
伴野鶴風
420 静岡市清水三丁目一ノ二ノ二 電話(054)61)九四四四番

筑前琵琶橋会師範
保多旭蝶
810 福岡市中央区春吉二ノ八ノ二 電話(092)76)〇三二番

日本琵琶楽協会
古田耕水
委員 東京都大田区東雲五ノ五ノ六 電話(03)46)六九六三番

染 料 ・ 染 色 助 剤 ・ 化 学 工 業 薬 品
合成接着剤・界面活性剤・製造卸商

株式会社 戸谷染料商店
社長 戸谷曙水

本社 東京都台東区下谷二丁目8の9 電話(873)3111, 3112, 3113, 3114, 3115
工場 埼玉県草加市吉町1丁目5の21番地 電話 草加0489 ②4955番

精密部品加工業(腕時計部品)
ネクタイ整形具(タイフレンド)製造販売

平井精密工業 有限会社
本社 所沢市日吉町17-13 電 0429(22)3175
工場 所沢市荒幡218 電 0429(22)3660
社長 平井円吉(洲誠)

お酒と新鮮魚 大衆の突貫酒場

荒井屋
友吉 健ちゃん
東京浅草雷門横
電話(84)四二五一番

石田琵琶店
創業明治十一年
東京都港区芝田町
電話(03)六五四八番
西久保巴町電停徒歩大通り

薩摩琵琶 専門製作
三田村 琵琶製作
三田村 琵琶製作
NHK放送センター西口前
東京都渋谷区神山町八番地
電話(03)六八二二番

三田村楽器店
電話(03)六八二二番

薩摩琵琶 附属品一式
愛吟集 各定価 400円 送料 55円

お酒と新鮮魚 大衆の突貫酒場

荒井屋
友吉 健ちゃん
東京浅草雷門横
電話(84)四二五一番

石田琵琶店
創業明治十一年
東京都港区芝田町
電話(03)六五四八番
西久保巴町電停徒歩大通り

薩摩琵琶 専門製作
三田村 琵琶製作
三田村 琵琶製作
NHK放送センター西口前
東京都渋谷区神山町八番地
電話(03)六八二二番

三田村楽器店
電話(03)六八二二番

薩摩琵琶 附属品一式
愛吟集 各定価 400円 送料 55円